

令和3年度

会計課の方針書

組織名	会計課
所属長名	会計管理者 播磨 康博

1. 組織の使命(ありたい姿)

会計事務の適正かつ迅速な執行および公金の確実で安全な保管と効率的な運用を図る

2. 組織の抱える課題(現状)

- ①適正な会計事務の執行
- ②安全かつ効率的な資金管理
- ③適正な物品管理
- ④会計業務の簡素化と効率化
- ⑤全庁職員の会計事務スキルアップ

3. 今年度の『スローガン』

～ 大きな仕事も小さな作業の積み重ね ～
会計事務の適正かつ迅速な執行

4. 今年度の方針

- ①適正かつ迅速な会計事務を推進します
- ②安全かつ効率的な公金の管理運用を行います
- ③職員の会計事務能力の向上を図ります

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	①適正かつ迅速な会計事務を推進します
	取組内容	・支出負担行為の確認および支出命令の審査を厳正に行い、適正かつ迅速な支出に努めます。 ・現金・有価証券・物品の出納・保管を確実にを行うため、点検体制の強化と担当部局・関係金融機関への指導に努めます。 ・支払情報データ伝送化のより一層の推進を図り、安全・確実で迅速な支払に努めます。
(2)	実現したい成果	②安全かつ効率的な公金の管理運用を行います
	取組内容	・日々の資金収支の正確な把握に努め、公金の確実な保管と多様な方法による効率的な資金運用を行います。
(3)	実現したい成果	③職員の会計事務能力の向上を図ります
	取組内容	・全庁職員の会計事務のスキルアップと意識向上のため情報提供や研修会等を実施します。 ・書類不備等の調査結果に基づいた指導を実施します。 ・会計事務の専門的な外部研修受講とOJTによる会計課職員のスキルアップに努めます。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

①適正かつ迅速な会計事務を推進します

- ・現金等出納及び保管に係る不正や誤り防止のため、8～9月に釣銭を保管している19課室所(34件)で「公金取扱マニュアル」の確認など実地指導を行った。また、返戻伝票の多い部署等へは直接訪問し指導を行った。
- ・押印廃止の方針に従って請求書などの書式の改定や会計規則改正を行うとともに、庁内外への周知を図った。
- ・取得価格100万円以上の重要物品と50万円以上100万円未満の物品の出納状況については、毎月「物品出納簿」を作成し、出納計算書により報告している。

②安全かつ効率的な公金の管理運用を行います

- ・収支予定額調書の提出依頼を毎月掲示板へ掲載し周知を図った。
- ・基金については、ペイオフ対策と運用益を確保するため債券による運用を始めた。

③職員の会計事務能力の向上を図ります

- ・職員を対象にした会計事務研修については、予算執行方針説明会(4/9)、採用1年目職員研修(6/30)を実施した。会計課職員向けの研修は、eラーニングやオンライン研修などにより実施した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

①適正かつ迅速な会計事務を推進します

- ・指定金融機関等が適正な公金の収納又は支払の事務及び公金の預金を行っているかなどについての検査を実施する。
- ・返戻伝票の削減を目的に返戻伝票の集計等を掲示板に掲載し、削減に対する職員の意識啓発を図る。
- ・収支予定額調書の提出については、今後も毎月掲示板へ提出依頼を掲載し、計画的な資金運用を図る。
- ・ファームバンキングについては、今後DVD等の媒体を利用している部署に活用を促すため、利用に向けた説明を実施する。
- ・適正な備品管理の徹底を図るため、定期的に備品台帳の整備依頼を掲示板に掲載する。

②安全かつ効率的な公金の管理運用を行います

- ・令和4年度の資金管理計画を3月末までに策定し、安全かつ効率的な公金管理に努める。

③職員の会計事務能力の向上を図ります

- ・遠隔地での研修は難しい状況であり、オンライン研修などにより会計課職員のスキルアップを図る。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

①適正かつ迅速な会計事務を推進します

- ・現金等出納及び保管に係る不正や誤り防止のため、8～9月に釣銭を保管している19課室所(34件)で「公金取扱マニュアル」の確認など実地指導を行った。また、返戻伝票の多い部署等へは直接訪問し指導を行った。今後も定期的な検査指導を実施する。
- ・押印廃止の方針に従って請求書などの書式の改定や会計規則改正を行うとともに、庁内外への周知を図った。今後も状況に合わせた制度の見直しを進める。
- ・ファームバンキングについては、北都銀行においてDVD等の媒体によるデータ授受の廃止を決定していることから、令和4年6月以降にすべてのデータ授受をファームバンキングへ移行する手続きを進める。
- ・適正な備品管理の徹底を図るため、今後も定期的に備品台帳整備の周知を行う。

②安全かつ効率的な公金の管理運用を行います

- ・資金運用においては、収支予定額調書や過去の収支、預金残高実績等により実施しているが、今後も毎年度策定する資金管理計画に基づき適正な資金管理に努める。
- ・基金については、ペイオフ対策と運用益を確保するため令和3年度より債券による運用を始めた。今後も基金の取り崩し需要に影響のない範囲で、債券の運用を実施する。

③職員の会計事務能力の向上を図ります

- ・会計処理に携わる職員を対象とした会計事務研修を引き続き開催し、知識・情報の習得をしてもらう。
- ・会計課職員の研修については、今後も可能であれば外部研修の受講を行うほかeラーニングによる受講や会計課内でOJTによる職員のスキルアップを引き続き図る。